

部局名	上下水道局	所属名	給排水相談課	所属長名	竹内 賢和	電 話	483-6156
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9920		事務事業名称	水道料金及び下水道使用料徴収事業						短縮コード	経常	9920	臨時	
予算区分	会計	91	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	04	業務費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		給水条例等							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
水道事業開始以来。給水条例第22条、同施行規程第16条及び八千代市事業管理者に事務を委任する規則に基づく。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
給水件数の増加に伴う業務量の増加及びニーズの多様化。						大項目（節）	04	水道						
						中 項 目	01	水道						
						小項目（施策）	01	水道の運営基盤の向上						
						細 項 目	03	水道事業の健全経営						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成18年4月 ～ 平成19年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	水道使用者 下水道使用者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 隔月に水道使用量を検針し水道料金及び使用料を賦課・徴収・収納・消込業務。							
	※平成19年度に計画していること： 隔月に水道使用量を検針し水道料金及び使用料を賦課・徴収・収納・消込業務							
意図 （何を狙っているのか）	水道料金等を遅滞なく徴収する。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	事業の健全な経営により需要者サービスの向上を図る。							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	給水件数	件	74,882	75,240	76,305	76,070	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	水道料金等を収納する	円	2,939,497,258	2,864,709,000	3,021,340,280	3,001,198,000	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	水道料金の収納率	%	92	100	92	100	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1	水道普及率	%			98.9		
	指標2							
	指標3							

コード		9920	事務事業名称	水道料金及び下水道使用料徴収事業			所属名	給排水相談課
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	226, 698	240, 158	227, 953	237, 832	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			八千代市水道・下水道業務検針及び収納事務委託料217, 454千円（445, 198件）	八千代市水道・下水道業務検針及び収納事務委託料226, 77千円（445, 198件）	八千代市水道・下水道業務検針及び収納事務委託218, 178千円	八千代市水道・下水道業務検針及び収納事務委託料227, 158千円(475, 005件)	
人件費(B)			千円	19, 920. 2	30, 014. 8	27, 995. 2	28, 728. 8	
トータルコスト(A)+(B)			千円	246, 618. 2	270, 172. 8	255, 948. 2	266, 560. 8	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	上位政策「快適生活空間都市をめさして」を推進するため「水道料金及び下水道使用料徴収事業」を実施しており，結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	継続的な日常業務のため。				
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	水道使用量を検針し，水道料金及び下水道使用料を賦課徴収する業務を民間事業者に委託している。事務事業の一部の実施主体を民間事業者に移行できないか検討が必要。				
			☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	継続的で安定した料金収益をあげるため。				
			☐ 見直す必要がある					
			☐ 評価対象外事項					
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある					
			☒ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☐ 可能性がない					
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	類似 事務 事業 名称	1			実施主体 (所管部署)
			☐ 臨時的任用職員等の活用					実施主体 (所管部署)
			☒ ＩＴ化等業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
			☐ 類似事業との統合・役割見直し					
			☐ 上記以外の方法					
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある	水道・下水道事業検針及び収納事務の委託により、既に人件費、電算処理費の軽減を図り効率的な経営につとめている。上下水道会計の統合に伴い電算機のシステム変更が必要となり，経費が一時的に大きくなる。				
			☐ ない					

コード	9920	事務事業名称	水道料金及び下水道使用料徴収事業			所属名	給排水相談課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			すでに検針・徴収事務を委託することで人件費を削減している。さらに、上・下水道統合に伴う料金徴収収納ソフトの開発を行いコストの縮減を図る。		
		☒ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
		☐ 廃止					
		☐ 休止					
		☐ 現状のまま継続					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			ソフト開発を実施するためコストは一時的に増加するが、人件費は削減され経費は不変である。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☒	☐	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など							

所属長コメント	上・下水道統合に伴う徴収収納ソフトの開発を行い、経費の削減をはかる。							
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続		積極的に推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善							
	☐ 事業規模の拡大・縮小							
	☐ 統合・役割見直し							
		☐ その他						
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								